



パーソルホールディングス株式会社

2024年5月13日（月）16:00-16:45 開催

FY2023 決算説明会 書き起こし

# ハイライト



1

## FY2023 決算概要

- 売上収益は1兆3,271億円（前期比+6.8%）、営業利益は520億円（同+21.8%）、調整後EBITDAは722億円（同△4.0%）
- 2月発表の修正予想に比して上方に着地

2

## FY2024 業績見通し

- 売上収益1兆4,170~1兆4,290億円（前期比+6.8%~+7.7%）、営業利益520~550億円（同±0%~+5.6%）、調整後EBITDA730~760億円（同+1.0%~+5.1%）
- 調整後EBITDAのFY2025目標1,000億円はFY2026以降極力早期に達成

3

## 更に資本効率・株主還元を重視

- 資本コスト・資本効率を重視し、200億円の自己株式取得を決定
- FY2023年間配当は8.6円、配当性向は50.5%
- FY2024年間配当予想は中計方針（調整後EPSに対する配当性向：約50%）に従い、9.0円

\*1 FY2023は2024年3月期を指します（以下同じ）

\*2 FY2023よりIFRSを適用し、FY2022の財務数値もIFRSに準拠して表示（以下同じ）

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

2

【代表取締役社長 CEO 和田】パーソルホールディングス代表取締役社長 和田孝雄です。本日はお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

はじめに、本日のハイライトですが、FY2023 の決算概要、そして FY2024 の通期業績見通し、加えて中期経営計画に関しても少しお話しいたします。それから、資本効率、株主還元というところをメインでお伝えしたいと考えております。

まず決算概要ですが、売上収益は 1 兆 3,271 億円、対前年比 6.8%の成長となりました。

営業利益は 520 億円、同 21.8%の成長、そして調整後 EBITDA は 722 億円と、前年比 4%低下しています。2 月に修正発表した業績予想から良化する形での着地となりました。販管費、粗利ともに改善しており、良化する形での決算のご報告ができたということを非常に嬉しく思っています。

FY2024 の業績見通しは、売上収益 1 兆 4,170 億円から 1 兆 4,290 億円、前年比 6.8 から 7.7%増の水準を見通しております。営業利益は 520 億円から 550 億円、調整後 EBITDA は 730 億円から 760 億円を見立てております。なお、調整後 EBITDA の FY2025 の目標数値 1,000 億円に関しましては、FY2026 以降、極力早期に達成できればと考えております。

また、取締役会において、資本コストを重視し、資本効率をしっかりと認識する経営を行うということで、200 億円の自己株式取得を決議いたしました。配当については、FY2023 は 8.6 円、配当性向を 50.5%とし、FY2024 の年間配当は今期に 4%以上の上乗せをし、9 円とさせていただきます。それとあわせて自己株式を取得することで、より一層投資家の皆様にも還元してまいりたいと考えております。一方、今後の成長投資についても引き続き実行してまいりたいと考えており、それができる環境をしっかりと整えた上での今回の自己株式の取得だということも改めて皆様にはお伝えしてまいりたいと考えております。

それでは、決算概要詳細に関しまして、CFO の徳永からご説明をさせていただきます。徳永さんお願いします。

# FY2023 決算概要

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

【執行役員 CFO 徳永】財務担当の徳永です。それでは私から決算の概要について説明をいたします。

## FY2023 決算概要（連結）

### 売上収益・売上総利益ともに堅調に拡大



(Million yen)	FY2022 実績	FY2023 実績	YoY	修正業績予想 (2024年2月発表)
売上収益	1,242,611	1,327,123	+6.8%	1,314,000
売上総利益	281,859	301,161	+6.8%	-
営業利益*1	42,754	52,065	+21.8%	49,000
営業利益率	3.4%	3.9%	+0.5pt	3.7%
EBITDA	73,069	81,700	+11.8%	-
EBITDA Margin	5.9%	6.2%	+0.3pt	-
調整後EBITDA	75,277	72,287	△4.0%	69,000
調整後EBITDA Margin	6.1%	5.4%	△0.6pt	5.3%
当期利益*2	22,761	29,971	+31.7%	29,400
調整後当期利益	39,544	38,839	△1.8%	38,400
EPS (Yen) *3	9.94	13.22	+33.0%	12.89
調整後EPS (Yen) *3	17.22	17.03	△1.1%	16.83

\*1 FY2022に129億円、FY2023に25億円の減損損失を計上

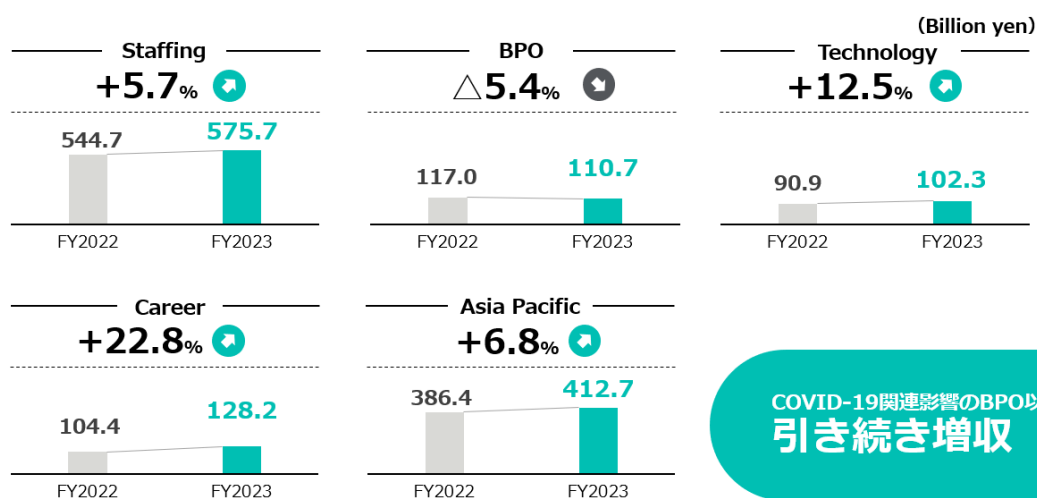
\*2 親会社の所有者に帰属する当期利益 \*3 2023/10/1付け株式分割後換算

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

4

まず、全体感ですが、先程和田からもありました通り、2月の発表に対して上方で落着をしております。具体的には、営業利益につきましては修正予想対比 30 億円増の 520 億円、そして私どもが重要視しております調整後 EBITDA につきましても、32 億円増の 722 億円でした。また、配当のベースとなります調整後 EPS につきましては、17.03 円でした。

## FY2023 SBU別売上収益



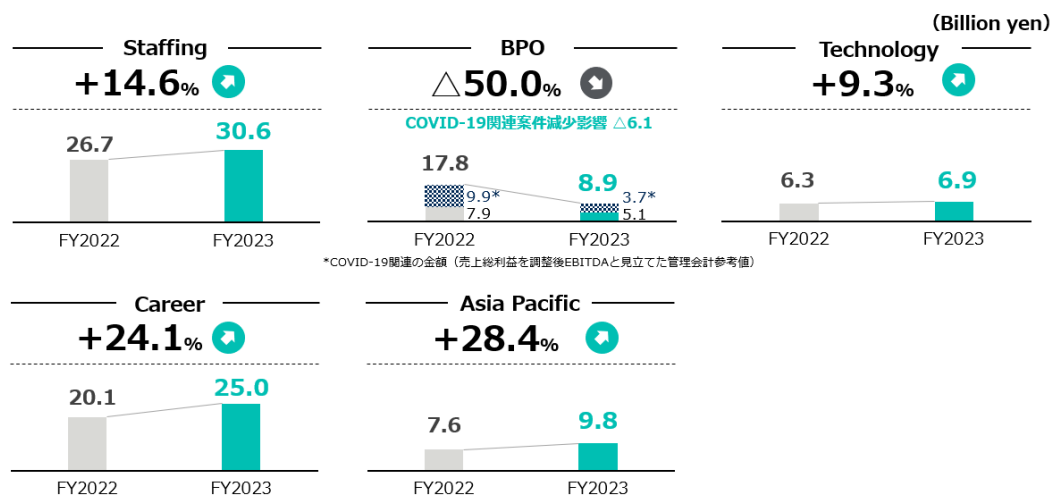
\* SBU : Strategic Business Unitの略 (以下同じ)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

5

続きまして、SBU別の売上収益の状況です。コロナ関連業務が剥落したBPOを除きまして、全てのSBUで増収を達成しました。特に前期、そして今期の成長の柱でありますCareer SBUにつきましては、約23%の増収を達成することができました。

## FY2023 SBU別調整後EBITDA

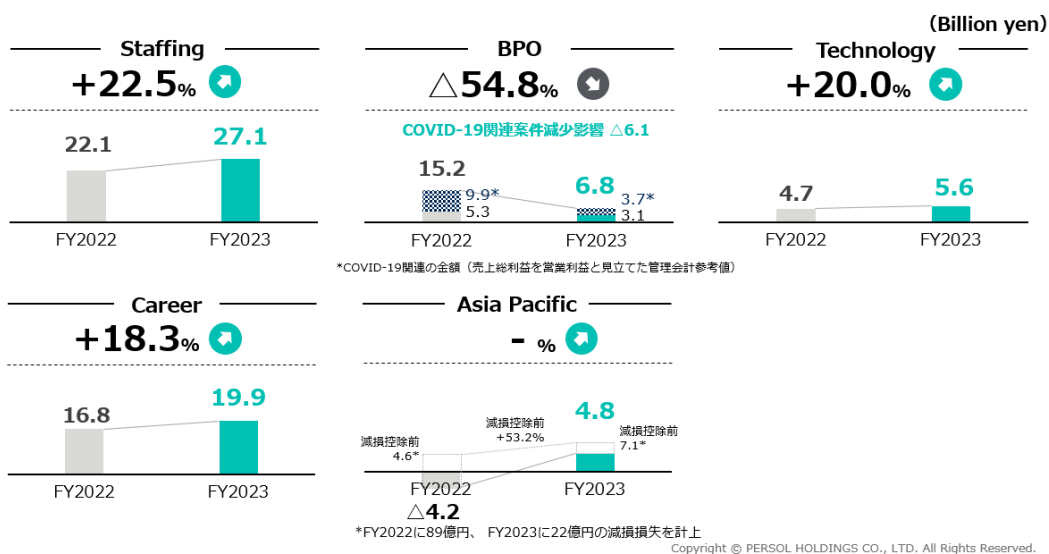


Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

6

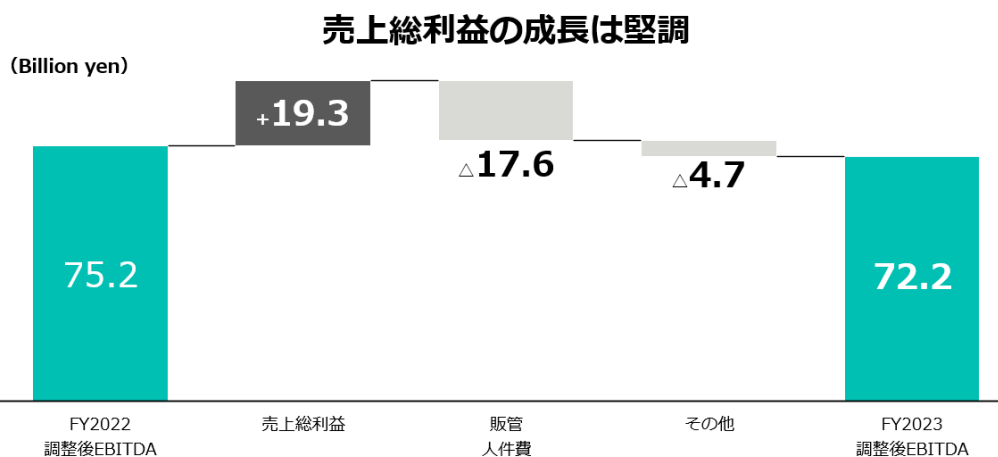
続きましてSBU別の調整後EBITDAの状況です。こちらも、BPOにつきましてはコロナ関連業務の剥落がありましたので178億円から89億円と減益でしたが、その他のSBUにつきましては増益を達成しております。特に、当社の事業の柱でありますStaffing SBUにつきましては40億円増の306億円、そして成長の柱でありますCareer SBUにつきましては、約50億円増の250億円となっております。

## FY2023 SBU別営業利益



続きまして、SBU 別の営業利益ですが、こちらの方は先程の調整後 EBITDA と同じトレンドですので、説明を省略させていただきます。

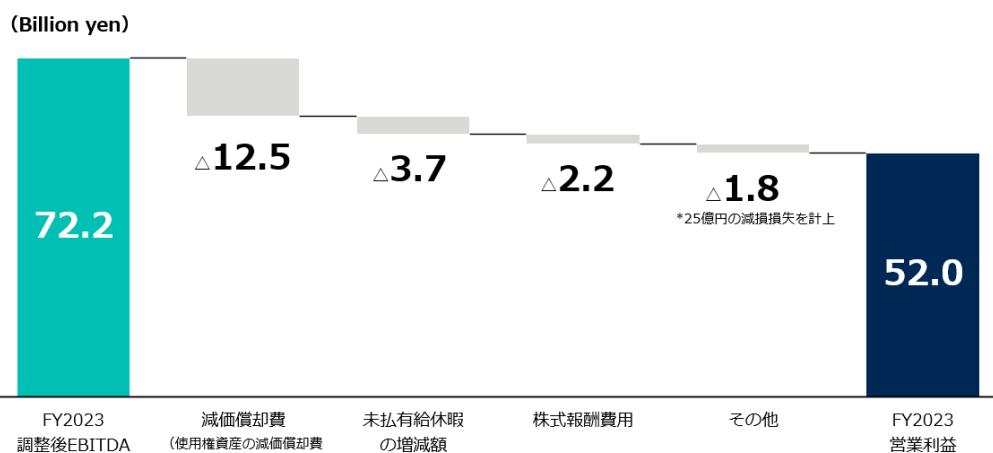
## FY2023 調整後EBITDAの増減分析（前期比）



続きまして、FY2022 対比、FY2023 の増減分析です。

売上総利益につきましては、193 億円増えている一方で、今中計で人的投資を強く行っているため、人件費につきましては 176 億円の増でした。

## FY2023 調整後EBITDAとIFRS営業利益



\* 調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費(使用権資産の減価償却費のうち家賃等相当額を除く) + (-) 未払有給休暇の増額 (減額) + 株式報酬費用 - (+) その他の収益 (費用) - (+) その他通常のでない収益 (損失)

9

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

続きまして、調整後 EBITDA から IFRS ベースの営業利益の推移です。調整後 EBITDA は 722 億円でしたが、減価償却費が 125 億円、有給の追加の引当が 37 億円、株式報酬が 22 億円、そして APAC を中心として 25 億円の減損を計上いたしましたので、結果として IFRS ベースの営業利益は 520 億円となりました。次頁に SBU 別の売上収益、調整後 EBITDA、営業利益の状況を表にしておりますので、ご覧ください。

## FY2023 連結財政状態計算書



(Million yen)	FY2022 Q4末	FY2023 Q4末	増減額		FY2022 Q4末	FY2023 Q4末	増減額
<b>流動資産</b>	301,445	<b>312,690</b>	+11,244	<b>流動負債</b>	249,552	<b>257,416</b>	+7,863
(主な内訳)				(主な内訳)			
現金及び現金同等物	101,233	<b>108,369</b>	+7,136	営業債務等*2	93,688	<b>95,270</b>	+1,582
営業債権等*1	162,853	<b>169,008</b>	+6,155	社債・借入金	21,174	<b>14,144</b>	△7,030
<b>非流動資産</b>	187,283	<b>206,040</b>	+18,757	未払有給休暇	46,505	<b>50,859</b>	+4,354
(主な内訳)				<b>非流動負債</b>	55,647	<b>52,996</b>	△2,650
のれん	58,465	<b>59,019</b>	+554	(主な内訳)			
無形資産	35,250	<b>39,655</b>	+4,404	社債・借入金	30,117	<b>20,000</b>	△10,117
使用権資産	28,168	<b>35,973</b>	+7,804	<b>負債合計</b>	305,199	<b>310,412</b>	+5,213
<b>資産合計</b>	488,728	<b>518,730</b>	+30,001	<b>資本合計</b>	183,529	<b>208,317</b>	+24,788
				親会社持分*3	169,670	<b>192,349</b>	+22,679
				<b>負債・資本合計</b>	488,728	<b>518,730</b>	+30,001

\*1 営業債権及びその他の債権 \*2 営業債務及びその他の債務 \*3 親会社の所有者に帰属する持分合計

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

13

続きまして、バランスシートの状況について簡単に説明をいたします。まず資産についてですが、流動資産は 112 億円増。非流動資産、すなわち固定資産につきましては 187 億円増でございました。また、負債ですが、社債と借入れにつきまして、流動、非流動で 170 億円程度返済をしております。一方で、自己資本につきましては、247 億円の増でした。

# FY2023 連結キャッシュ・フロー計算書



営業CFとフリーCFは増加

(Million yen)	FY2022 実績	FY2023 実績	増減額
営業キャッシュ・フロー	68,980	77,753	+8,773
(主な内訳)			
税引前利益	41,249	48,926	+7,677
減価償却費及び償却費*	30,315	29,634	△680
法人所得税の支払額又は還付額	△25,262	△21,523	+3,738
投資キャッシュ・フロー	△22,787	△19,000	+3,787
(主な内訳)			
有形固定資産の取得による支出	△3,257	△3,279	△21
無形資産の取得による支出	△9,440	△12,207	△2,767
フリーキャッシュ・フロー	46,193	58,753	+12,560
財務キャッシュ・フロー	△41,779	△53,803	△12,023
(主な内訳)			
社債の償還による支出	-	△10,000	△10,000
自己株式の取得による支出	△10,000	△0	+10,000
配当金の支払額	△9,907	△18,921	△9,014
現金及び現金同等物の期末残高	101,233	108,369	+7,136

\*家賃等相当額 (FY2022は12,716百万円、FY2023は17,079百万円) を含む。

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

14

続きまして、年間のキャッシュフローの状況です。FY2023 は 3 月末が休日だったこともあり、その分キャッシュフローが増加しております。具体的には、営業キャッシュフローが 777 億円、投資キャッシュフローがマイナスの 190 億円ということで、フリーキャッシュフローは 587 億円出ております。ただ、償却費 296 億円の中には、IFRS ベースですので、家賃相当の 170 億円が含まれていることにご留意いただけたらと思います。また結果として現預金につきましては、3 月末で 1,083 億円でした。

## FY2023 SBU別決算概要

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

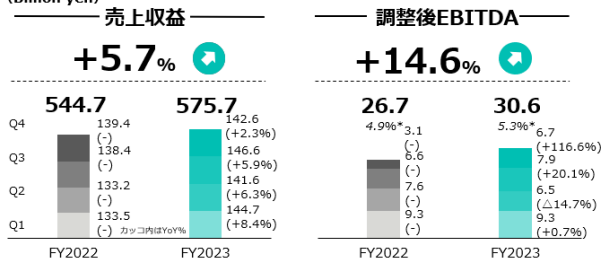
これから、SBU 別の決算の概要と、足元の営業状況について簡単にご説明いたします。

## Staffing SBU (P/L分析)

増収増益。就業者数増、請求単価上昇に伴い増収。コスト最適化の寄与もあり増益着地



(Billion yen)



売上増減分析	%	FY2023 Q別			
		Q1	Q2	Q3	Q4
売上収益	YoY	+8.4	+6.3	+5.9	+2.3
派遣売上					
就業者数	増減率	+6.4	+5.1	+3.5	+2.9
平均請求単価	増減率	+2.6	+2.7	+2.9	+2.7
就業日数	増減率	+1.5	-	+1.5	-2.9
就業時間	増減率	-0.1	+0.3	-0.2	+0.5
その他売上増減等	増減率	-2.0	-1.8	-1.8	-0.9
委託請負売上	増減率	-0.5	-0.6	-0.6	+0.0
その他	増減率	-1.5	-1.2	-1.2	-0.9

### 四半期 (2024年1~3月) コメント

- 売上収益は就業者数増、平均請求単価上昇に伴い YoY +2.3%の増収
  - 調整後EBITDAは増収に伴う粗利増および販管費抑制に伴い YoY +116.6%の増益
- 売上総利益率 (FY2022) 16.3% → (FY2023) 16.4%  
 売上高販管費率 12.2% → 11.7%

KPI	単位	FY2022				FY2023			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
派遣KPI									
就業者数	千人	113	116	119	121	121	122	124	125
平均請求単価	円	2,201	2,202	2,204	2,215	2,263	2,267	2,274	2,284
就業日数	日	61	59	60	60	62	59	61	58

就業者数 : 毎月1営業日時点の長期派遣就業者数 ※長期=3ヶ月以上契約  
 平均請求単価 : 対象期間における派遣契約の請求単価 (長期・短期・単発)  
 就業日数 : (Staffing SBU共通) 暦日 平日日数から計画有給日数を除いた日数  
 就業時間 : パーソルテンプスタッフ株式会社における対象月にある派遣契約 (長期・短期・単発) の平均実働時間 (時間内・時間外の合算)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

16

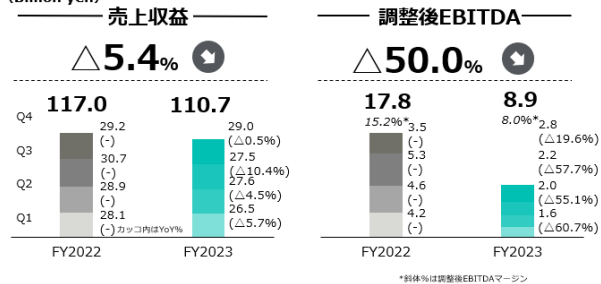
まず、当社の柱である Staffing SBU ですが、売上ににつきましては 5.7%増、調整後 EBITDA につきましては 14.6%増ということで、堅調な状況でございました。直近の1月から3月の第4四半期につきましては、営業日数が58日だったこともあり、伸び率が他の四半期よりはやや少なかったのですが、就業者数につきましては3%弱の増の12万5千人、請求単価につきましても約3%増を達成しております。

## BPO SBU (P/L分析)

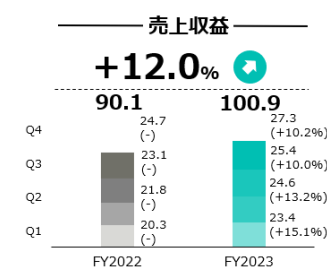
COVID-19関連案件は前期比で減少するも、オーガニックベースは引き続き増収



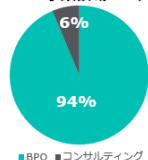
(Billion yen)



### オーガニックベース (COVID-19関連案件 除)



### 売上構成比 事業領域 FY2023



オーガニック業績推移	単位	FY2022				FY2023			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上収益	M.JPY	28,132	28,931	30,777	29,244	26,520	27,617	27,569	29,088
オーガニック*	M.JPY	20,378	21,802	23,178	24,769	23,461	24,685	25,485	27,307

\* COVID-19関連案件概算額を差し引いて算出

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

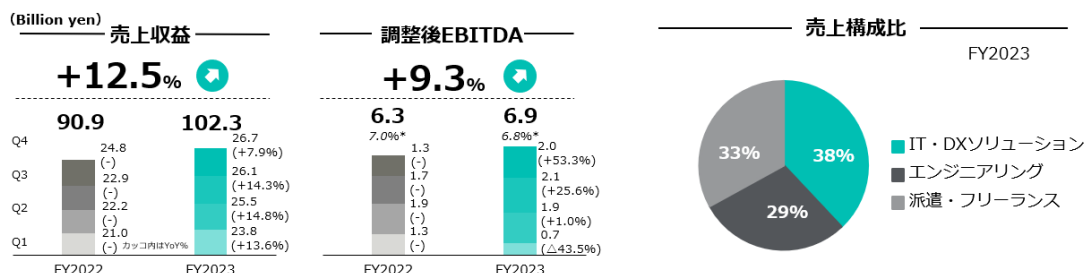
18

2つ目のSBUでございますBPOです。冒頭説明した通り、コロナ関連のサービスが剥落しておりますので、減収減益の状況ですが、コロナ関連を除くオーガニックな売上ににつきましては、第3四半期までと同様、年間を通して12%増と、順調な状況です。



# Technology SBU (P/L分析)

稼働エンジニアの増加と売上単価増により増収



## 四半期 (2024年1~3月) コメント

IT・DXソリューション	エンジニアリング
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 旺盛なDX需要を背景に堅調</li> <li>■ エンジニア数 (四半期末) : 3,200人月 (前年同期比+13.8%)</li> <li>■ 稼働率 (四半期末) : 90.1%</li> <li>■ Q4平均売上単価/月 (BP*含む) : 1,118千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 需要が引き続き堅調</li> <li>■ エンジニア数 (四半期末) : 3,310人月 (前年同期比+8.2%)</li> <li>■ 稼働率 (四半期末) : 94.0%</li> <li>■ Q4平均売上単価/月 (BP*含む) : 820千円</li> </ul>
派遣・フリーランス	エンジニアの採用状況 (SBU全体)
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 登録型派遣エンジニア数はIT領域・エンジニアリング領域共に弱含むも請求単価は順調に増加</li> <li>■ 登録型派遣エンジニア数(就業人数、四半期末) : 4,780人 (前年同期比△1.5%)</li> <li>■ Q4平均派遣請求単価 (時間あたり) : 3,936円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ FY2023通期の採用数は1,114名 (前年同期比+48.7%、うち新卒採用数は481名)</li> <li>■ FY2024の新入社員は632名 (前期比+31.4%)</li> </ul>

3つ目のSBUのTechnology SBUです。年間を通して12.5%の増収、9.3%の調整後EBITDAの増を達成いたしました。3つのサブセグメントがありますので、説明をさせていただきます。

まず1つ目のサブセグメントであるITセグメントですが、前年同期比で約14%増のエンジニア数の増加を達成しております。稼働率につきましては、第3四半期よりは改善して約90%ですが、これにつきましてはまだ改善の余地があると認識をしております。

2つ目のセグメントである機械、電気のエンジニアリングセグメントですが、こちらも約8%増のエンジニア数です。また稼働率は94%ということで、概ね良い数字だと理解をしております。

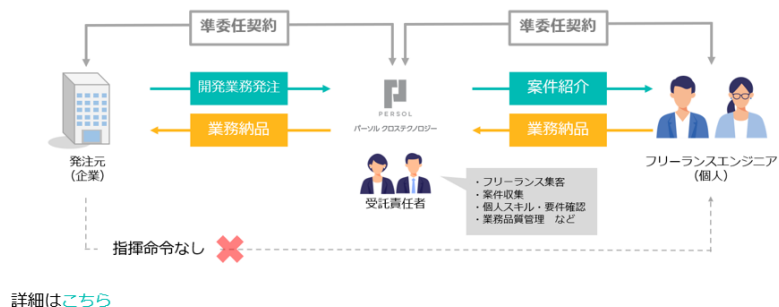
3つ目のセグメントである登録の派遣ですが、こちらは前年同期比で約1.5%の減ということで、就業者数自体は減っておりますが、時間あたりの請求単価につきましては3,936円と、約7%の前年対比増を達成しております。また右下の方に記載しておりますが、エンジニアの採用を強化しており、FY2023につきましては、新卒採用で481名、中途を含めまして1,100名以上の採用を達成しております。FY2024の新入社員につきましては、前年対比30%増の630名の採用をしております。

## 事業トピックス： Technology SBU



「はたらいて、笑おう。」の実現に向け、  
多様なキャリアを求めるエンジニアと、エンジニア不足などの課題を抱える企業の双方のニーズに応える  
「再委託型フリーランスサービス」を開始

- ・当社が企業・フリーランスエンジニアのそれぞれと準委任契約を締結
- ・発注元企業・エンジニア双方にメリットを提供



Technology SBU について、トピックスを紹介させていただきます。

正社員や登録型のスタッフの皆さんに、より幅広いお仕事を提供することを当社のミッション、ビジョンにしており、それに加え、フリーランスの皆様にも色々なキャリアの機会を提供したいという思いから、再委託型のフリーランスサービスをこの4月から開始をいたしました。具体的には、クライアントの企業の皆様に弊社と準委任契約を結んで頂き、弊社からフリーランスの皆様にも準委任契約をすることで、仕事のクオリティを確保するというサービスです。

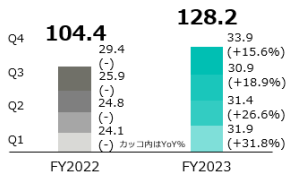
# Career SBU (P/L分析)

過熱感があつた人材紹介需要が落ち着くなか、順調に増収増益

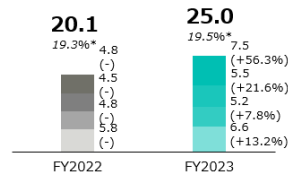


(Billion yen)

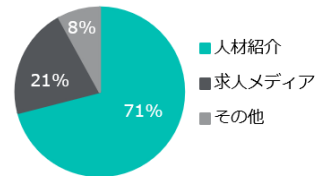
売上収益  
**+22.8%**



調整後EBITDA  
**+24.1%**



売上構成比



## 四半期 (2024年1~3月) コメント

### 人材紹介

- YoY14%の増収
- CA等のHeadcount (HC) \*は、Q4平均2,355名 (YoY+23.3%)
- 生産性 (売上収益÷HC) は、Q4平均2,732千円 (YoY△9.5%)

\*Career Advisors, Recruiting Advisors, Project Agents等の総数

### 求人メディア

- YoY15%の増収

### 転職市場動向

- COVID-19収束後の著しく過熱感があつた人材紹介需要が落ち着いており、転職希望者の動きも賃上げなどを背景にやや慎重な傾向

売上増減	%	FY2022				FY2023			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
人材紹介	YoY	+47	+55	+51	+46	+35	+29	+17	+14
求人メディア	YoY	+33	+42	+36	+31	+27	+21	+20	+15

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

22

続きまして、Career SBU です。冒頭説明いたしましたが、年間を通して売上につきましては約 23%の増、調整後 EBITDA につきましては 24%の増でした。1 月-3 月の第 4 四半期につきましては、市場が少し変わったということもあり、前年対比で 15%の増収でした。販管費をコントロールすることにより、第 4 四半期は増益を達成しております。また、キャリアアドバイザーのヘッドカウントの状況ですが、前年対比で 23%の増加となっております。一方で生産性につきましては、約 10%落ちており、FY2024 の改善の課題だと考えております。

# 事業トピックス : Career SBU



テクノロジー・データ活用強化により、多様なキャリアの実現をサポート

## 生成AIで職務経歴書が最短“1分”で作成可能に

- 転職サービス「doda」は、2024/4/24より、サービス初の生成AIによる職務内容の自動生成機能を搭載
- 3つの質問(職種/役職/仕事内容)にキーワードで答えるだけで、職務経歴書が完成
- 目指したいキャリアの実現に向け「AI」×「転職支援のプロ」がワンストップで伴走



詳細は[こちら](#)

## 「doda X」と「dodaダイレクト」が連携開始

- ハイクラス転職「doda X」とスカウトサービス「dodaダイレクト」が2024/4/1より連携開始
- 「doda X」登録者はスカウトサービスを利用可能に「dodaダイレクト」利用企業は「doda X」人材にリーチ可能に
- 転職・採用の選択肢を拡大

doda X doda ダイレクト

詳細は[こちら](#)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

23

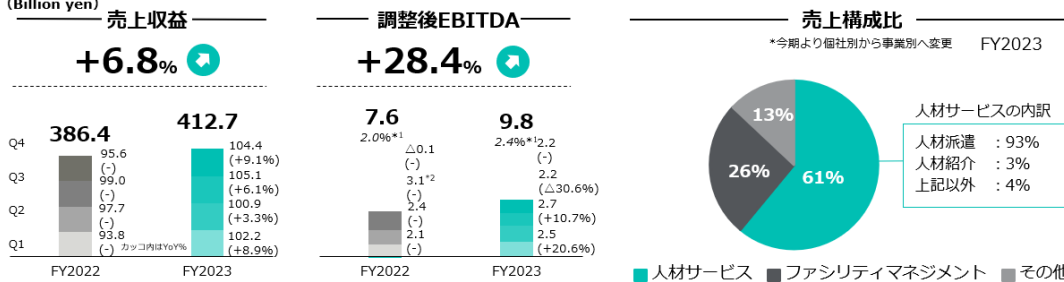
Career SBU につきまして 2 つトピックを掲載しておりますが、右の方のトピックについて説明を差し上げます。ハイクラスをターゲットとした「doda X」と、「doda ダイレクト」を、この 4 月から連携させることで、お客様によりよいサービスを提供できるようにしております。

# Asia Pacific SBU (P/L分析)

中計重点施策の着実な推進を通じ、収益性改善



(Billion yen)



## 四半期 (2024年1~3月) コメント

- 人材サービス**

  - 人材紹介は一部の国で低調だったものの、人材派遣は各国概ね堅調に推移
  - 人材紹介のHC (コンサルタント数) はQ4平均1,145名

**ファシリティマネジメント**

  - 空港、水道、学校など幅広い施設の管理、維持、補修を行うファシリティマネジメント事業は順調に成長
- \*1 これまで3か月ずれたった連結財務諸表への取込情報で、FY2023よりIFRS移行を機に同タイミングに変更  
 \*2 為替レート 【豪ドル (Programmed) 】 FY2022 : 92.7円、FY2023 : 95.1円  
 【米ドル (PERSOLKELLY) 】 FY2022 : 135.5円、FY2023 : 144.6円

最後のSBUでございます Asia Pacific SBU です。こちらのSBU につきましては 2022 年に先行して中計を発表しておりますが、現在順調に進捗をしており、売上は7%増、調整後 EBITDA は約 30%増を達成しております。各国、各エリアの状況ですが、中国、ベトナムについてはまだコロナ前まで回復していませんが、それ以外の国やエリアにつきましては、概ね順調に回復をしております。また、2 つ目のサブセグメントであるファシリティマネジメントサービス、空港、水道、学校等のメンテナンスサービスですが、こちらにつきましても順調な状況です。

## (参考) Asia Pacific SBU業績内訳 (PERSOLKELLY、Programmed)



(Million yen)	FY2022 Q4	FY2023 Q4	YoY	FY2022 Q1-Q4	FY2023 Q1-Q4	YoY
売上収益	95,660	104,406	+9.1%	386,410	412,770	+6.8%
PERSOLKELLY	23,137	27,913	+20.6%	93,848	106,971	+14.0%
Programmed	72,142	75,630	+4.8%	291,827	303,066	+3.9%
営業利益	△666	△315 <sup>*3</sup>	-	△4,281	4,841 <sup>*3</sup>	-
PERSOLKELLY	△136	866	-	2,483	2,606	+4.9%
Programmed	△83	1,328	-	△5,503 <sup>*4</sup>	5,900	-
調整後EBITDA	△176	2,266	-	7,659	9,832	+28.4%

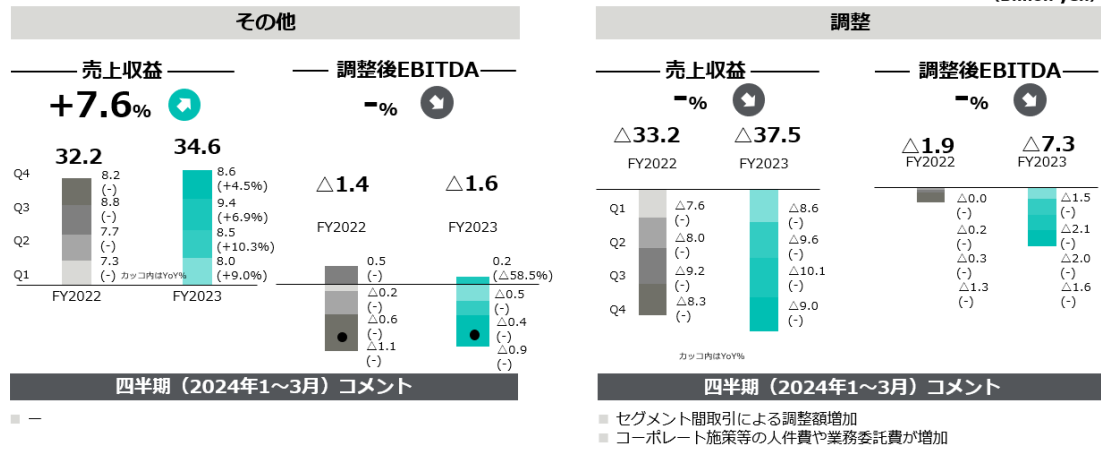
\*1 当SBUは、「PERSOLKELLY」「Programmed」の他に、事業を管掌する本部機能等で構成されております。上記内訳において、当該本部機能等の実績は省略しており、合計は一致しません  
 \*2 為替レート 【豪ドル (Programmed) 】 FY2022 : 92.7円、FY2023 : 95.1円  
 【米ドル (PERSOLKELLY) 】 FY2022 : 135.5円、FY2023 : 144.6円  
 \*3 東南アジアでオンデマンドスタッフィングプラットフォーム「Workmate」を展開するHelpster等の減損損失22億円を含む  
 \*4 減損損失89億円を含む

Asia Pacific につきましては、PERSOLKELLY と Programmed、それぞれの会社ごとの売上収益と営業利益を記載しております。冒頭説明いたしました、アジアにおいて HR テックをベースとする Workmate というサービスを、約 20 億円減損しましたので、それを反映した数字を掲載しております。

## その他・調整 (P/L分析)



(Billion yen)



\* その他および調整の内容につきましては、決算短信のセグメント情報等に関する注記をご参照ください。

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

27

その他と調整です。第 3 四半期までの状況と大きくは変わっておりませんが、調整においては、セグメント間の取引が FY2023 から増えたこと、そしてコーポレートで IT 人材を強化したことに伴い、調整後 EBITDA がマイナス 73 億円になっております。

以上、私から全体の決算の概要、そして SBU の足元の状況について説明を差し上げました。

## FY2024 通期業績予想

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

【代表取締役社長 CEO 和田】それでは続きまして、通期の業績予想に関しては私からお伝えいたします。

## FY2024 市場環境と事業の見通し



### ■ 人材派遣事業、技術開発請負事業、BPO事業 他 (Staffing、BPO、Technology、APAC一部)

市場環境は中計策定当初から大きく変わらず、ビジネスも概ね堅調に推移する見込み

### ■ 人材紹介事業 (Career)

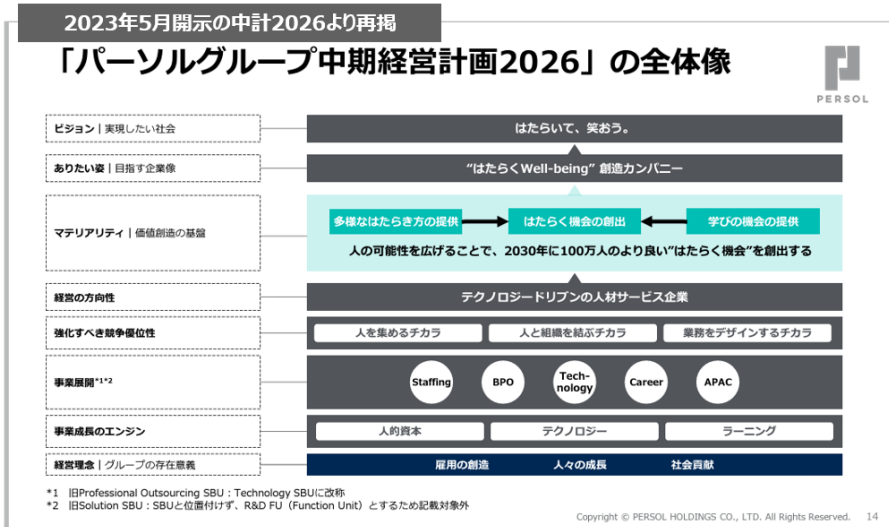
人材紹介需要は足元では比較的高い状況が続いているが、下期以降不透明な部分あり

市場環境の変化をより敏感に察知し、スピードと柔軟性をもって的確に対応  
業績予想の達成を目指す

まず、マーケットの見立てを皆様と共有したいと思っております。我々の見立てにおいて、Staffing SBU や BPO SBU、Technology SBU が対象となるような人材派遣、技術者請負領域や BPO 領域のマーケット環境は、当初中期経営計画を策定した時点から大きく変わっているという認識は持っていません。ビジネスそのものも非常に堅調に推移をしていくと見立てておりますので、安定的な成長が見込めるのではないかという認識です。

一方、人材紹介事業は引き続き非常に堅調なマーケットの需要がありますが、マーケットの堅調な需要の中でも厳選採用や一服感など、色んな環境変化に対し非常に敏感に動くマーケットだと認識しています。特に今後、地政学的な問題や海外の景気変動の影響を非常に受けやすいのではないかと想定もしております。そういった中で、企業の人材採用のスピード感がどのぐらい高まるか、もしくはスローダウンするかというところの見立てが非常に難しいと認識をしており、そういったところにもしっかりとミートできる経営をしていこうと取り組んでいます。その証として、Career SBU においては、売上収益や調整後 EBITDA に幅を持たせた形での業績予想を示させていただき、それによってより機動的、かつ比較的長いスパンでの事業展開がしやすくなるような形を確保していきたいと思っております。

# テクノロジードリブンの人材サービス企業へ



なぜそのような形を取るかといいますと、中計で掲げております、テクノロジードリブンの人材サービス企業になっていこうということ、我々のビジョン、「はたらいて、笑おう。」を実現するためには、より多くのはたらく機会や多様なはたらき方、そしてその学びの機会、こういったものをしっかりと安定的に提供をし、かつそれを活用していただく方々に満足度高くそれを実装していく必要がございますので、そのための取り組みをしっかりと確実に、着実に積み上げてまいりたいと考えております。特に今、人的資本経営が非常に重要となっておりますし、その人的資本に対して採用される企業様もそうですし、実際に稼働される方々にとっても、その思いやその取り組みが伝わるような状況をご支援できればと思っております。



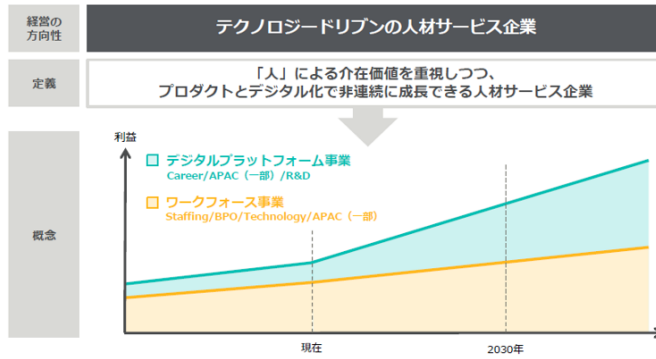
# テクノロジードリブンの人材サービス企業へ



2023年5月開示の中計2026より再掲

## 経営の方向性

パーソルグループが向かうべき方向性を下記のとおり定める



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved. 8

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

33

我々の事業スタンスにおいて、人材を介入することによって価値を提供する部分と、テクノロジーによって価値を提供する部分のこの比率をどんどん変えていこうと。今までは我々のサービスそのものはほぼ人を通して提供しただけだったところから、デジタルを活用して、人の介入を極力最小化したとしても、テクノロジーと人で最大の価値が提供できる、こんな組み合わせを実現してまいりたいと思っています。

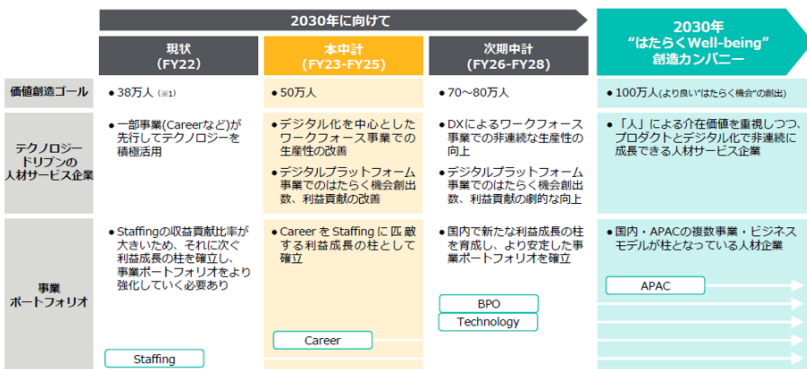
# テクノロジードリブンの人材サービス企業へ



2023年5月開示の中計2026より再掲

## 2030年に向けて

本中計の最終年度（FY25）には50万人、2030年には100万人を目指す



※1 最新版の暫定値であり変動可能性あり

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved. 9

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

34

2025年までには、50万人程度のよりよいはたらく機会を提供したいと思っておりますし、この先しっかりと成長を続け、2030年には100万人の方々によりよいはたらく機会を提供し、それがグループの大きなうねりとなって世の中に、はたらくwell-beingが広がっていく、こんな世界を実現したいと思っています。

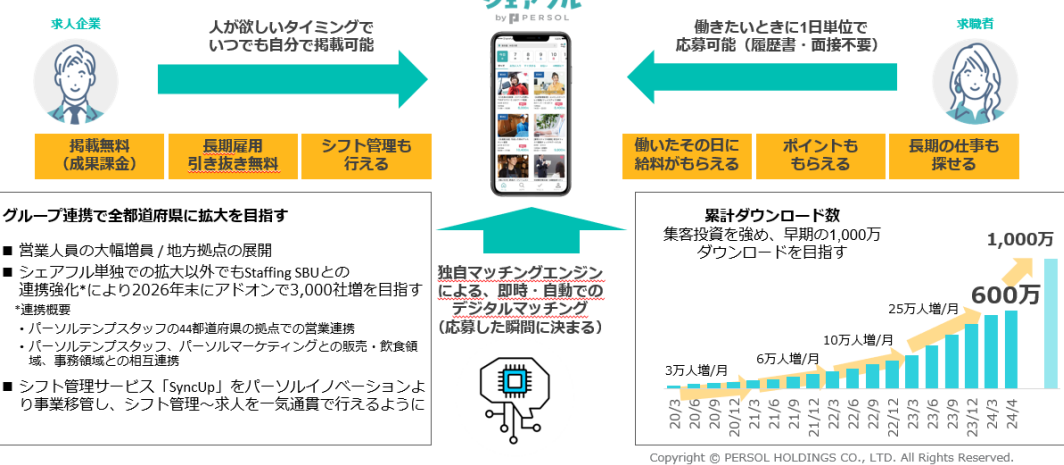


# デジタルプラットフォーム事業の展開

## シェアフル



1日単位からマッチング可能なスキマバイトアプリ。2019年より展開しており、ファーストランナーとして業界トップクラスの求人数まで成長。人が不足した瞬間に求人が出せ、すぐに応募が集まり、自動でマッチングする、人手を介さないデジタルマッチングプラットフォーム。



その中で、デジタルプラットフォーム型のビジネスの事例を1つ掲げています。シェアフルというサービスで、既に皆様ご存知かもしれませんが、今色々なメディアで、隙間バイトやスポットバイトなどといった表現をされることも多くある取り組みです。具体的には、たとえば飲食店の店長さんが、夜中の12時に明日のシフトでもう一人二人足りないという時に、自分で入力されると、その真夜中の1時、2時、3時ぐらいまでにはマッチングが出来上がって、翌日人のシフトが組めるといったモデルです。もちろん、夜中の1時2時でするので人が介在しているわけではなく、当然システムで自動マッチングされています。企業への支援にもなり、働く方にとっては明日の予定がそこで決まり、そして場合によっては必要に応じてその日のうちにお給料ももらえる、そんな仕組みがこのシェアフルのモデルであります。非常に大きな成長が期待されていますし、また働き方の多様性ですとか、より多くの働かれない方々の指向性にしっかりとミートしたサービスになっていくと認識しており、すでに600万人の方々にシェアフルのアプリをダウンロードしていただいております。今後ますますユーザーとして利用していただけるのではないかと、そして企業サイドもこのシェアフルを活用することによって、シフト管理が非常に楽になり、例えば店長さんやその人材配置の責任者の方々の業務を軽減していく、その部隊の生産性が上がっていく、こんなご支援ができるのではないかと考えています。そういったことも踏まえながら、我々は今後もしっかりと成長投資をしながら増収増益も実現してまいりたいと考えています。

# FY2024 通期業績予想概要（連結）<sup>\*1</sup>



成長投資を継続しながら、増収増益を目指す

(Billion yen)	FY2023 実績			FY2024 予想			YoY		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	654.8	672.2	1,327.1	696.0	721.0 ~733.0	1,417.0 ~1,429.0	+6.3%	+7.3~+9.0%	+6.8~+7.7%
営業利益	26.3	25.6	52.0	24.4	27.6~30.6	52.0~55.0	△7.5%	+7.4~+19.1%	△0.1~+5.6%
営業利益率	4.0%	3.8%	3.9%	3.5%	3.8~4.2%	3.7~3.8%	△0.5pt	+0.0~+0.4pt	△0.3~△0.1pt
調整後EBITDA	35.0	37.2	72.2	35.1	37.9~40.9	73.0~76.0	+0.2%	+1.8~+9.8%	+1.0~+5.1%
調整後EBITDA Margin	5.4%	5.5%	5.4%	5.0%	5.3~5.6%	5.2~5.3%	△0.3pt	△0.3~+0.0pt	△0.3~△0.1pt
当期利益 <sup>*2</sup>	16.7	13.2	29.9	15.2	17.3~19.3	32.5~34.5	△9.4%	+31.0~+46.2%	+8.4~+15.1%
調整後当期利益	18.9	19.8	38.8	17.9	20.4~22.4	38.3~40.3	△5.7%	+2.7~+12.8%	△1.4~+3.8%
EPS (Yen)	7.41	5.81	13.22	6.66	7.58~8.46	14.24~15.12	△10.1%	+30.5~+45.6%	+7.7~+14.4%
調整後EPS (Yen)	8.33	8.69	17.03	7.84	8.95~9.82	16.79~17.66	△5.9%	+2.9~+12.9%	△1.4~+3.7%

<sup>\*1</sup> 為替レート 【豪ドル (Programmed)】 FY2023 実績：95.1円、FY2024 予想：95円 【米ドル (PERSOLKELLY)】 FY2023 実績：144.6円

<sup>\*2</sup> 親会社の所有者に帰属する当期利益

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

36

通期の予想数値についてですが、Career SBU で幅を持たせた開示数値とすることが影響し、全体も同じ分だけ幅のある開示数値となっております。

売上収益は、通期では 1 兆 4,170 億円から 1 兆 4,290 億円の間、営業利益においては、520 億円から 550 億円、そして調整後 EBITDA は 730 億円から 760 億円の間で開示をさせていただいております。

こちらの表にも記載の通り、上期は見通しが立っておりますので、この上期の見通しを踏まえて、下期のマーケット変動における幅をお示ししております。

## ビジョン「はたらいて、笑おう。」の実現の一環として、 障害者雇用を積極的に推進



### 変更ポイント

- FY24より法定障害者雇用率が変わること背景に、障害者雇用費用の各SBUへの配賦割合を変更（各SBUのポイントで按分する方式へ）
- 按分方式の変更による全社費用総額は変更なし（連結PLに影響なし）

【参考：障害者雇用率と雇用費用の総額推移】

	法定障害者雇用率 (%)	当社障害者雇用費用 (Billion yen)
FY2023	2.3	10.9
FY2024（予定）	2.5	12.2

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

37

もう一点、障害者雇用について共有させていただきます。

障害者雇用に関して我々は非常に大規模な雇用を実現しており、日本でも4番目の雇用数と認識しておりますが、政府の要請や我々のビジョンの実現に向け、今後ますます積極的に進めていく必要があります。その実現のため、今までは我々グループでより多くの方々の雇用の場を作るために、特例子会社で最適かつ最大の人材を確保できる仕組みとなっており、各SBUは特例子会社にいかに仕事を依頼できるか、いかにその仕事を用意できるかということが重要でしたが、今後は特例子会社だけではなく、現場で障害者の方々と一緒にはたらく環境を用意する必要があります。そういった時に、必要な雇用数を、各SBUが把握し、推進するドライブをかけるための仕組みとして、今回、障害者雇用費用の按分の変更をしております。

## FY2024 通期業績予想 SBU別 売上収益



(Billion yen)	FY2023 実績 (障害者雇用費用の配賦割合変更後)			FY2024 予想			YoY		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
連結	654.8	672.2	1,327.1	696.0	721.0 ~733.0	1,417.0 ~1,429.0	+6.3%	+7.3~+9.0%	+6.8~+7.7%
Staffing	286.4	289.3	575.7	300.0	307.0	607.0	+4.7%	+6.1%	+5.4%
BPO	54.1	56.6	110.7	54.0	58.0	112.0	△0.3%	+2.4%	+1.1%
Technology	49.4	52.9	102.3	56.0	62.0	118.0	+13.3%	+17.1%	+15.3%
Career	63.3	64.8	128.2	71.0	67.0~79.0	138.0~150.0	+12.0%	+3.2~+21.7%	+7.6~+16.9%
Asia Pacific*	203.2	209.5	412.7	215.0	224.0	439.0	+5.8%	+6.9%	+6.4%
その他	16.5	18.1	34.6	20.0	25.0	45.0	+20.8%	+38.1%	+29.9%
調整	△18.2	△19.2	△37.5	△20.0	△22.0	△42.0	-	-	-

為替レート 【豪ドル (Programmed)】 FY2023 実績： 95.1円、 FY2024 予想： 95円 【米ドル (PERSOLKELLY)】 FY2023 実績： 144.6円  
Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

38

従いまして、本頁では障害者雇用に対する費用を新たな方式で按分して FY2023 の実績をプロフォームし、それに対して FY2024 はどのような状況になるかということ SBU ごとにお示ししています。トップラインは変更なく、SBU ごとの割り振りが変わります。具体的には Staffing SBU と BPO SBU の負担率が上がる一方で、Career SBU の負担率が下がるというのが全体の概要です。

## FY2024 通期業績予想 SBU別 調整後EBITDA、調整後EBITDA Margin



(Billion yen)	FY2023 実績 (障害者雇用費用の配賦割合変更後)			FY2024 予想			YoY		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
連結	35.0	37.2	72.2	35.1	37.9~40.9	73.0~76.0	+0.2%	+1.8~+9.8%	+1.0~+5.1%
	5.4%	5.5%	5.4%	5.0%	5.3~5.6%	5.2~5.3%	△0.3pt	△0.3~+0.0pt	△0.3~△0.1pt
Staffing	15.1	13.4	28.5	14.8	13.5	28.3	△2.2%	+0.3%	△1.0%
	5.3%	4.7%	5.0%	4.9%	4.4%	4.7%	△0.4pt	△0.3pt	△0.3pt
BPO	3.4	4.9	8.4	1.8	4.4	6.2	△48.1%	△11.8%	△26.7%
	6.4%	8.8%	7.6%	3.3%	7.6%	5.5%	△3.1pt	△1.2pt	△2.1pt
Technology	3.0	4.6	7.7	2.0	6.2	8.2	△35.2%	+33.0%	+5.8%
	6.2%	8.8%	7.6%	3.6%	10.0%	6.9%	△2.7pt	+1.2pt	△0.6pt
Career	12.4	13.6	26.1	15.7	13.9~16.9	29.6~32.6	+26.0%	+1.6~+23.5%	+13.3~+24.7%
	19.7%	21.1%	20.4%	22.1%	20.7~21.4%	21.4~21.7%	+2.5pt	△0.3~+0.3pt	+1.1~+1.4pt
Asia Pacific*	5.3	4.4	9.8	5.4	6.1	11.5	+1.0%	+36.0%	+17.0%
	2.6%	2.1%	2.4%	2.5%	2.7%	2.6%	△0.1pt	+0.6pt	+0.2pt
その他	△0.7	△0.8	△1.6	△1.7	0.2	△1.5	-	-	-
調整	△3.6	△3.1	△6.8	△2.9	△6.4	△9.3	-	-	-

為替レート 【豪ドル (Programmed)】 FY2023 実績： 95.1円、 FY2024 予想： 95円 【米ドル (PERSOLKELLY)】 FY2023 実績： 144.6円  
Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

39

調整後 EBITDA、EBITDA マージンに関しましてもこちらに記載の通りですが、通期で 730 億円から 760 億円の水準、マージンとしては 5.2%から 5.3%の枠の中で着地をさせるということを見通しとして描いております。

## FY2024 通期業績予想 SBU別 営業利益、営業利益率



(Billion yen)	FY2023 実績 (障害者雇用費用の配賦割合変更後)			FY2024 予想			YoY		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
連結	26.3	25.6	52.0	24.4	27.6~30.6	52.0~55.0	△7.5%	+7.4~+19.1%	△0.1~+5.6%
	4.0%	3.8%	3.9%	3.5%	3.8~4.2%	3.7~3.8%	△0.5pt	+0.0~+0.4Pt	△0.3~△0.1pt
Staffing	13.6	11.5	25.1	12.7	10.8	23.5	△6.8%	△6.3%	△6.6%
	4.8%	4.0%	4.4%	4.2%	3.5%	3.9%	△0.5pt	△0.5pt	△0.5pt
BPO	2.3	4.0	6.4	0.4	3.3	3.7	△83.2%	△18.8%	△42.6%
	4.4%	7.2%	5.8%	0.7%	5.7%	3.3%	△3.7pt	△1.5pt	△2.5pt
Technology	2.7	3.8	6.5	1.6	5.2	6.8	△41.0%	+36.8%	+4.4%
	5.5%	7.2%	6.4%	2.9%	8.4%	5.8%	△2.6pt	+1.2pt	△0.6pt
Career	10.1	10.8	21.0	13.1	11.5~14.5	24.6~27.6	+28.5%	+5.8~+33.4%	+16.8~+31.1%
	16.1%	16.7%	16.4%	18.5%	17.2~18.4%	17.8~18.4%	+2.4pt	+0.4~+1.6pt	+1.4~+2.0pt
Asia Pacific*	3.4	1.3	4.8	3.8	4.5	8.3	+9.7%	+226.9%	+71.4%
	1.7%	0.7%	1.2%	1.8%	2.0%	1.9%	+0.1pt	+1.4pt	+0.7pt
その他	△0.7	△2.7	△3.4	△3.2	△1.1	△4.3	-	-	-
調整	△5.2	△3.1	△8.4	△4.0	△6.6	△10.6	-	-	-

為替レート 【豪ドル (Programmed)】 FY2023 実績：95.1円、FY2024 予想：95円 【米ドル (PERSOLKELLY)】 FY2023 実績：144.6円  
Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

40

そして、営業利益、営業利益率は 520 億円、550 億円、営業利益率としては 3.7 から 3.8%という水準で着地をさせたいと考えております。

この後の資本効率、株主還元に関しましては、再度徳永さんからご説明をいただきます。それでは徳永さんお願いします。

## 資本効率、株主還元の強化

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

【執行役員 CFO 徳永】それでは私から資本効率、株主還元について説明をいたします。

## 資本コスト・資本効率性を意識した経営を推進



### I. 現状分析・評価

- 当社の資本コストはCAPMに基づき一定の幅で算定のうえ、投資家の期待値を踏まえ設定
- 2024年3月時点の資本コストは8%前後と把握（現行中計期間中は8%をベース値とする）
- 取締役会によって資本コスト・資本効率性のモニタリング、及び執行陣の改善アクションの監督を実施
- FY2023のROIC実績は資本コストの8%を大きく上回る15.1%を達成

### II. 取組みの検討・開示

- 中長期的に「ROIC－資本コスト」を拡大するために、ROICとROEの目標を設定
- 積極的なIR活動、適正な資本構成などによる資本コストの低減への取り組みを実施
- 資本効率性の目標達成を役員報酬制度に導入済
- 資本コスト・資本効率性を考慮し、株主還元を実施

### III. 株主・投資者との対話

- 資本コスト・資本効率性の目標と改善アクションに関して、株主・投資家等と積極的に対話を実施
- 対話で得られた内容を取締役会へ定期的にフィードバックし、改善策を検討

詳細は2024年5月13日公表のコーポレートガバナンス報告書に記載

まず当社としては、従来から資本コスト、そして資本効率性を意識した経営を推進してきましたが、今回東証から新しくガイダンスも出たことから、改めて当社の資本コスト、資本効率性についての考え方を説明させていただきたいと思います。まず現状の分析と評価ですが、当社としては、資本コストは一定の算定式に基づいて幅で算定の上、投資家の皆様とのコミュニケーション、対話を通して、目標の数値を決定しております。具体的には、24年3月時点においては資本コストを8%前後と把握、認識しております。今中計、FY2023からFY2025の間は、この資本コスト8%をベースとして計画を作っていきたいと考えております。また、当社の取締役会によって、この資本コスト、資本効率性のモニタリング、そして我々執行側がどういった改善のアクションをとっているかという監督を行っております。足元のROICの実績は、資本コストの8%を大きく超える15%強という状況です。

2つ目の資本コスト、資本効率性に関する取り組みの説明ですが、ROIC マイナス資本コストのいわゆるスプレッドを拡大することが、当社の企業価値を高めることだと認識しており、ROICとROEの目標を設定しております。また、より積極的なIR活動、そして適正な資本構成を取ることによって、資本コストを中長期的に低減することの取り組みも行っていきたいと考えております。

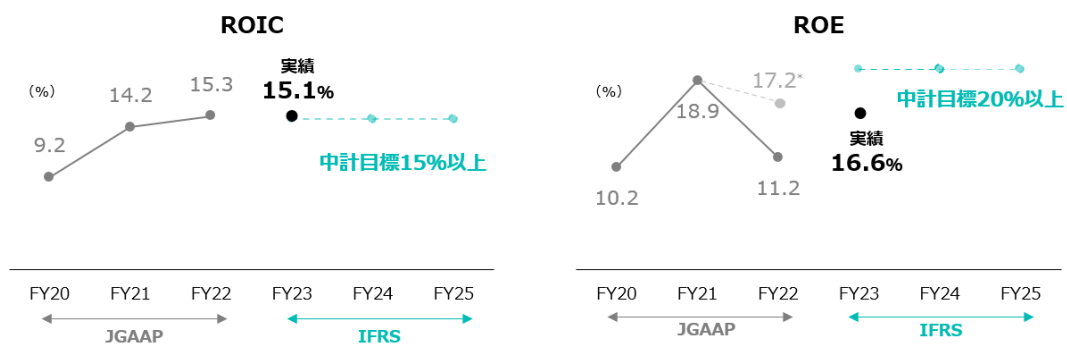
また、当社の役員報酬制度につきましては、すでにこの資本効率性の目標の達成具合がLTIとして導入しております。このあとまた説明いたしますが、資本コスト、資本効率性を考慮しながら株主還元施策を検討しました。

3点目は、株主、投資家の皆様との対話です。資本コスト、資本効率性の目標だけではなく、いかにそれらの数字を改善していくかというアクションについて、今後、より株主、投資家の皆様と積極的に対話を行っていきたいと考えておりますし、その対話の内容を当社の取締役会に定期的にフィードバックして、改善策、PDCAを実行していきたいと考えております。

## ROIC・ROEの中計目標とFY2023実績



中計2026目標に対し、ROICは達成も、ROEは未達  
利益率の改善・株主還元などを通じ、目標水準を目指す



FY2023のROIC、ROEの実績です。まずROICにつきましては目標の15%を超える15.1%でございました。一方でROEにつきましては目標の20%に未達の16.6%であり、これを踏まえて、先程和田が説明いたしました株主還元施策を検討しました。

# 財務戦略



成長投資と株主還元の両立を維持しつつ、引き続き財務戦略を堅持  
(赤字：一部修正)

		前中計 (～2023年3月期)	今中計 (～2026年3月期)		
① 財務 指標	成長性	営業利益450億円	調整後EBITDA (IFRS)	752億円 (FY22) → 1,000億円以上 (FY25)	1,000億円以上 (FY26以降速やかに達成を目指す)
	効率性	ROIC：10%以上(日本基準)	ROIC	原則として 15%以上 (IFRS)	変更無し 資本コスト:8%前後
			ROE	原則として 20%以上 (IFRS)	変更無し
健全性	Net CashがEBITDAの1倍超の場合、株主還元強化を検討	Net D/E	最大でも 1倍以内	変更無し	
		Net Debt/EBITDA	最大でも 2倍以内	変更無し	
② キャッシュ・アロケーション	余剰キャッシュを含め1,300億円を以下のアロケーション ・ M&A：800億円 ・ 設備投資：300億円 ・ 配当：200億円	税引後EBITDA	2,000億円(見込)を、ソフトウェア等IT投資、株主還元(配当)、成長投資等へアロケーション	短期的な業績修正に伴い、2,000億円は未達の見込。但し、株主還元重視の方針は変更無し	
③ 株主還元	配当性向：約25% (対調整後EPS)	配当性向	約50% (対調整後EPS)	変更無し	

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved. 44

続きまして、財務戦略についてです。

当社の財務戦略は3つの財務指標、キャッシュアロケーション、株主還元で構成されております。そのうち財務指標の成長性、具体的にはFY2025で調整後EBITDAの1,000億円を達成するという目標につきましては、先程和田からも説明がありましたが、FY2026以降なるべく早期に達成したいと考えております。また、キャッシュアロケーションにつきましては、税引後EBITDAである2,000億円のうち、ソフトウェア投資に500億円、この500億円というのは当社の3年間の減価償却費とほぼ同額ですが、500億円の投資を行った後の1,500億円につきましては、株主還元750億円、成長のためのM&Aに750億円と、半分ずつというアロケーションでございました。今回の下方修正に伴いまして、税引後EBITDAは2,000億円から下方になりますが、一方で、今中計期間の株主還元額については増加の見込みです。また株主配当につきましては、調整後EPSの約50%という方針に変更はございません。



# 自己株式の取得（総額200億円）



## 1. 自己株式取得の理由

財務状況、並びに株価の状況等に鑑み、株主還元の拡充を図るため

## 2. 取得の内容

(1) 取得する株式の種類	当社普通株式
(2) 取得する株式の総数	123,700,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合5.41%）
(3) 株式取得価額の総額	200億円（上限）
(4) 取得方法	東京証券取引所における市場買付
(5) 取得期間	2024年6月3日～2025年3月31日
(6) その他	本件により取得した自己株式は、そのうち3分の1のみ将来の株式報酬制度に活用するため保有するもの、その他は会社法第178条の規定に基づく取締役会決議により消却予定

## （ご参考）2024年3月31日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数（自己株式を除く）	2,285,777,971株
自己株式数	46,220,639株

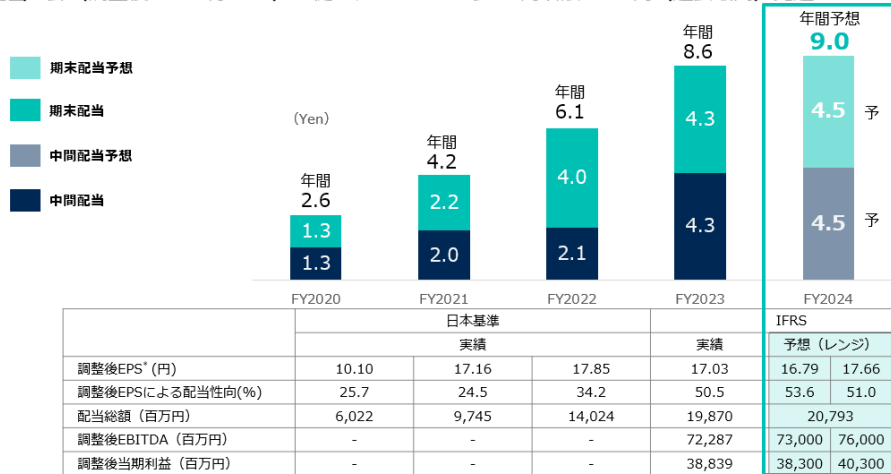
自己株式の取得の概要です。私どもの方針としては、財務状況や株価の状況を鑑みて適時株主還元として自己株式の取得をしたいと考えております。今回、200億円を上限として6月3日から来年の3月末までの間で買付をしたいと考えております。また、買付した株式につきましては、3分の2は消却をする予定ですが、残りの3分の1である60億円強につきましては、当社はだいたい単年度30億円程度の従業員向けの株式報酬制度を実施しておりますので、その株式報酬制度のためにそのまま残したいと考えております。

# FY2024 配当予想



FY2024の調整後EPS予想は16.79~17.66円

配当方針（調整後EPSの約50%）に従い、FY2023より0.4円増額の9.0円（過去最高）見込



項目	日本基準				IFRS	
	実績			実績	予想 (レンジ)	
調整後EPS* (円)	10.10	17.16	17.85	17.03	16.79	17.66
調整後EPSによる配当性向(%)	25.7	24.5	34.2	50.5	53.6	51.0
配当総額 (百万円)	6,022	9,745	14,024	19,870	20,793	
調整後EBITDA (百万円)	-	-	-	72,287	73,000	76,000
調整後当期利益 (百万円)	-	-	-	38,839	38,300	40,300

\*2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行ったため、一株当たり配当金額および調整後EPSは、過年度分も含め、当該株式分割が行われたと仮定して換算

最後に配当ですが、FY2023 の配当につきましてはこれまで開示している通り、中間配当 4.3 円、期末配当 4.3 円の合計 8.6 円といたします。また FY2024 につきましては、配当の方針に従いまして中間配当 4.5 円、期末配当 4.5 円の 9.0 円ということを開示をさせていただきます。以上、私から株主還元、資本コストについて説明をさせていただきました。

# Group Topics

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

【代表取締役社長 CEO 和田】最後に、私から皆さんに共有です。

## 経産省、東証：パーソルを「なでしこ銘柄」に（令和5年度）



女性活躍推進に優れた企業として、

経済産業省と東京証券取引所が共同で実施する令和5年度「なでしこ銘柄」にパーソルが初選定



- 「なでしこ銘柄」は、女性活躍推進に優れた上場企業を「中長期の企業価値向上」重視の投資家にとって魅力ある銘柄として紹介することを通じて、企業への投資を促進し、各社の取組加速化を狙いとするもの
- パーソルは、経営の直轄組織となるジェンダーダイバーシティ委員会での分科会活動や、SBUごとの目標設定、きめ細かく設定されたモニタリング項目、キャリアオーナーシップへの取組の開示などが評価された

詳細は[こちら](#)

パーソルグループは昨年、なでしこ銘柄に指定をいただきました。3,900社程ある東証の上場企業の中でも27社しか選ばれない中に我々が選考をいただいたということは非常に誇らしく思いますし、我々の取り組みそのものを高く評価いただけて非常に感謝しているところです。特に女性の活躍という視点だけではなく、女性の活躍するフィールドを作るには、男性の方々に対するケアも必要で、男性の方の、女性とともに子育てをするの方々に対するケアや、男性の育児休業への支援や、男性の育児体験、女性が日頃子育てされている中でどんな経験をされ、どんな思いをされているのかというようなことを体感できるような、そんな制度や仕組みも組み込みながら、よりインクルーシブな環境を作っていこうという取り組みが、総合的に評価をいただけたのかなと思っています。今後も、当然女性の管理職の増強も進めてまいりますけれども、ただそれだけにとどまらず、性別、国籍、年齢等々関係なくインクルーシブな環境で仕事をしていただけるような状況をしっかり作っていきたくと思っています。それをもっとより我々のグループにエンゲージメントの高い社員が、エンゲージメントの高いサービスをさせていただく、こんな環境を作っていければなというふうに思っています。そのなかで、この今回のなでしこ銘柄への選考は非常に励みになりますし、企業としてもありがたく思っています。

## 投資家向け事業説明会（IR Day）開催の予定



機関投資家・アナリスト向けに、  
各SBU・FUの事業内容についての説明を  
行う予定

時期：7月以降

進行：各SBU・FU長によるプレゼンテーション  
+ 質疑応答

SBU・FU

Staffing SBU

BPO SBU

Technology SBU

Career SBU

Asia Pacific SBU

R&D FU

そして最後に、我々の事業は5つのセグメントとその他の領域にわたり、非常に多くの分野で進めさせていただいており、そのより詳しい内容や事業の現状などを直接SBU・FUの責任者であるSBU・FU長からの生の声も含めて、皆様と対話しながら理解を深めさせていただく場をご用意したいと考えております。7月以降に各SBU・FU長によるプレゼンテーションや質疑応答の場をご用意しますので、ぜひ万障お繰り合わせいただきましてご参加いただければ、よりパーソルグループの良さや強さ、今後の魅力を感じていただけるのではないかなと思っております。

私の方からは以上です。